

環境省自主参加型国内排出量取引制度
算定報告書【別添4 - 2】

排出削減実施事業者名	ABC工業株式会社
工場・事業場名	三島工場
目標保有参加者タイプ	タイプA
算定対象期間	2005.4.1 ~ 2006.3.31

各報告年度について次のように記載する。
・2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)
・2005年度(2005年4月1日～2006年3月31日)
・2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)
各年度1冊にまとめ、3年度分(3冊)提出すること。
様式を変更したり削除したりせず、必要な箇所に

算定報告書【別添4-2】

I. 排出源リスト

敷地境界の識別根拠		工場立地法の届出書類より識別							
排出源 No.	排出源	排出源の種類 (~)	排出源特定の根拠	算定対象有無 (or x)	対象外とする理由		コージェネ設備	外部供給	備考
					(A~D)	「その他」の理由			
1	中央受電所		消防法届書類						
2	ボイラー (No.1 ~ No.4)		消防法届書類						
3	No.1溶融炉		消防法届書類						
4	No.2溶融炉		消防法届書類						
5	生石灰製造用ロータリーキルン		消防法届書類						
6	北変電所		消防法届書類						
7	廃棄物焼却炉		大気汚染防止法届出書類						
7	廃棄物焼却炉		大気汚染防止法届出書類						助燃用としてA重油を使用
8	コージェネレーション設備		消防法届書類		A				
9	非常用発電機		消防法届書類	x	A				
10	ガソリンスタンド		消防法届書類	x	A				
11	原子吸光度計分析装置		納品伝票	x	A				分析時にアセチレンを使用

【記入上の注意事項】

- 「敷地境界の識別根拠」には、識別に用いた公的届出・申請書類を記載(工場の場合は工場立地法届出、消防法届出、登記簿謄本等、事業場の場合は消防法届出、建築基準法に基づく建築確認申請書等)。
- 排出源の種類を以下から選択すること(詳しくは実施ルール「3. 排出量の算定」を参照)。
燃料の使用に伴うCO₂排出 電気・熱の使用に伴うCO₂排出 廃棄物の焼却・使用等に伴うCO₂排出 工業プロセスに伴うCO₂排出
- 対象外とする理由は以下から選択すること。
A:少量排出源に該当する為 B:工場・事業場外における移動排出源の為 C:電気・熱を全て外部へ供給している為 D:その他(具体的に記入)
- 算定対象外とした排出源の排出量を報告する場合には、「VIII. 任意報告」に記載すること。
- 少量排出源に該当する場合においても、削減対策実施年度に排出量の大幅な増加が想定されている場合には、算定対象となる点に留意すること。
- 別添4-1 6.(2)において、少量発生源を算定対象外として選択した場合、「VIII. 任意報告」に少量排出源とした根拠を記載すること。
- 「排出源の特定の根拠」には、排出源を特定するにあたって用いた書類や設備リスト等を記入すること。
- 欄が足りない場合には追加して記入すること。

・モニタリング方法

モニタリング方法については、採択決定後速やかに提出すること。様式等については、別途説明会を開催する。

記入例

III-2. コージェネレーション設備の発電量

コージェネレーション発電に対するクレジット交付量

発電量 [kWh]	コジェネ係数 (固定値) [t-CO ₂ /kWh]	クレジット交付量 [t-CO ₂]
38,825	0.00021	8

【記入上の注意事項】

- 1) 発電量は1kWh未満を切り捨てとし、整数値で記入すること。
また、交付量については、1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること

記入例

算定報告書【別添4-2】

III-3. 燃料の使用に伴う排出 (外部供給を伴う排出源からの排出)

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量 [kWh]	外部供給電力量 [kWh]		所内消費熱量 [GJ]	外部供給熱量 [GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量 [kWh]	外部供給電力量 [kWh]		所内消費熱量 [GJ]	外部供給熱量 [GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量 [kWh]	外部供給電力量 [kWh]		所内消費熱量 [GJ]	外部供給熱量 [GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]

計

【記入上の注意事項】

- 1) 工場・事業場外に供給した電気・熱の発生に係るCO₂の直接排出については、モニタリング報告ガイドライン第II部1.4を参考に計算すること
- 2) 燃料使用量、所内消費電力量、外部供給電力量、所内消費熱量、外部供給熱量はそれぞれの量単位で小数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 3) 欄が足りない場合には追加して記入すること
- 4) 廃棄物発電による電気・熱を工場・事業場外に供給する場合も本シートに記入する。廃棄物を燃料とする場合には、単位発熱量の記入は不要で、廃棄物の種類別に排出係数のみを記入すること。

算定報告書 [別添4-2]

IV. 電気・熱の使用に伴う排出

(1) 電気事業者から供給された電気の使用

排出源No.(系統電力)	電気使用量 [kWh]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /kWh]	排出量 [t-CO ₂]	備考
1	23,978,000	0.000391	9,375	
6	612,894	0.000391	-239	北変電所から(株)玲温商事に供給した電力量
		0.000391		
計			9,136	

【記入上の注意事項】

- 1) 電気使用量は1kWh未満を切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 欄が足りない場合には追加して記入すること

(2) 熱供給事業者から供給された熱の使用

排出源No.(熱供給)	供給形態 (~)	熱使用量 [GJ]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /GJ]	排出量 [t-CO ₂]	備考
3		4,568	0.06	274	
計				274	

【記入上の注意事項】

- 1) 熱使用量は1GJ未満を切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 供給形態は以下より選択して番号を記入すること:
産業用蒸気 温水 冷水 蒸気(産業用以外)
- 3) 欄が足りない場合には追加して記入すること

算定報告書 [別添4-2]

・廃棄物の焼却等に伴う排出

廃棄物の焼却及び製品の製造用途への使用、廃棄物燃料の使用に伴う排出

排出源No.	廃棄物焼却・使用量 [t]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t]	排出量 [t-CO ₂]	備考
7	114	2.29	261	
計			261	

【記入上の注意事項】

- 1) 廃棄物焼却・使用量は1t未満を切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 外部委託分は算定の対象外とする
- 3) 廃棄物発電による電気・熱を工場・事業場外に供給する場合は、シート -3「燃料(外部供給)」に記入すること

算定報告書 [別添4-2]

VI-1. 工業プロセスに伴う排出

活動	原料の種類	排出源No.	原料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m ³ N]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t, kl, 千m ³ N]	排出量 [t-CO ₂]	備考
セメントの製造	クリンカ				0.510		
生石灰の製造	石灰石	5	9,630	t	0.428	4,122	
	ドロマイト	5	12,240	t	0.449	5,496	
石灰石及び ドロマイトの使用	石灰石				0.440		
	ドロマイト				0.471		
ソーダ灰の製造	CO ₂				1		
ソーダ灰の使用	ソーダ灰				0.15		
アンモニアの製造	石炭				2.4		
	石油コークス				3.3		
	ナフサ				2.3		
	液化石油ガス(LPG)				3.0		
	石油系炭化水素ガス				2.3		
	液化天然ガス(LNG)				2.7		
	天然ガス(LNG除く)				2.1		
	コークス炉ガス				0.9		
計						9,617	

【記入上の注意事項】

- 1) 原料使用量は使用量単位で小数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること

算定報告書 [別添4-2]

VI-2. 工業プロセスに伴う排出

活動	原料の種類	排出源No.	原料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t]	排出量 [t-CO ₂]	備考
シリコンカーバイドの製造	石油コークス				2.3		
カルシウムカーバイドの製造	石灰石起源				0.76		
	還元剤起源				1.1		
エチレンの製造	エチレン使用量				0.028		
アセチレンの使用	アセチレン使用量				3.4		
電気炉を使用した粗鋼の製造	電気炉における粗鋼生産量				0.0050		
ドライアイスの使用	ドライアイス使用時のCO ₂ 排出量				1		
噴霧器の使用	噴霧器の使用時のCO ₂ 排出量				1		
計							

【記入上の注意事項】

1) 原料使用量は使用量単位で小数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること

算定報告書【別添4-2】

VII. 合計CO₂排出量

活動の区分		排出量[t-CO ₂]
III-1	燃料の使用に伴う排出(外部供給を伴う排出源を除く)	5,548
III-3	燃料の使用に伴う排出(外部供給を伴う排出源からの排出)	0
IV	電気・熱の使用に伴う排出	9,410
V	廃棄物の焼却等に伴う排出	261
VI-1	工業プロセスに伴う排出	9,617
VI-2	工業プロセスに伴う排出	0
排出量合計(a)		24,836
III-2	コージェネレーション発電に対するクレジット交付量(b)	8
コジェネクレジット調整後の排出量 (a)-(b)		24,828

算定報告書【別添4-2】

VIII. 任意報告

排出源 No.	排出源	排出量[t-CO ₂ 換算]	備考
9	非常用発電機	8	施設メンテナンスのため年に2回使用:A重油使用量3kL
10	ガソリンスタンド	13	場内車輛の給油にガソリン6kL使用
11	原子吸光度計	1	分析時にアセチレンを300kg使用
	廃水処理施設	6	活性汚泥処理によるメタンの発生
	廃水処理施設	4	活性汚泥処理によるN ₂ Oの発生

【記入上の注意事項】

- 1) 算定対象外の排出量についてはこのシートに記入すること
- 2) 排出量は概算でも可